

鷹番小学校と合同の活動 水鳥の飛来状況の調査 について



鷹番小学校との合同調査（原っぱ）と出前授業について

鷹番小学校の4年生の児童と合同で拡張部（北側）の原っぱで昆虫等の調査を行いました。

また、合同調査の1週間後に学校に訪問し、合同調査に参加した児童に対して出前授業を行いました。出前授業では、原っぱの環境や確認できた昆虫等について話し合い、なぜ1年前と比べて昆虫等が増えたのかを一緒に考えました。

合同調査の様子（自由広場）



確認された昆虫等
令和3年度
14種23個体
↓
令和4年度
17種34個体

合同調査の様子（芝生広場）



確認された昆虫等
令和3年度
13種22個体
↓
令和4年度
13種54個体

鷹番小学校との植樹イベントについて

鷹番小学校が開校90周年を迎えるにあたり、小学校の3年生の児童と合同で植樹イベントを行いました。

植樹イベントでは、既存部（南側）の樹林地内の4箇所に高さ約50cmのクヌギの苗を植樹しました。

植樹イベントの様子



水鳥の飛来状況の調査について

既存部（南側）の池で越冬する水鳥の飛来状況を把握するための調査を行いました。

冬季調査の結果、既存部で14種の鳥類が確認されました。水鳥では冬鳥のキンクロハジロ、留鳥のカルガモ、カワセミの飛来が確認されました。

調査で確認されたキンクロハジロ



調査で確認されたカワセミ



今後のスケジュールについて

令和5年5月ごろ～

- ・意見交換会
- ・自然環境の保全・回復に向けた取り組み（令和4年度に未実施のエリア）

令和5年10月ごろ～

- ・意見交換会
- ・管理運営計画作成

令和6年3月ごろ

- ・生物多様性保全林に指定
- ・指定されたことを示す看板の設置

地域の皆さまの意見を反映し、ともに碑文谷公園の多様な自然環境の保全・回復を目指していきます。

目黒区都市整備部みどり土木政策課みどりの係 茂野・角田
TEL：03-5722-9359 FAX：03-3792-2112
Email：midoridoboku09@city.meguro.tokyo.jp

令和4年度の取り組みの報告

目黒区では、碑文谷公園内の自然環境に関する様々な問題に対し、地域の皆さまと連携しながら保全・回復を目指す「碑文谷公園生物多様性保全林事業」を進めています。

これまで、地域の皆さまと合同で、現地調査会を1回、意見交換会を2回行いました。また、意見交換会などで話し合われたことを踏まえ、自然環境の保全・回復に向けた様々な取り組みを行いました。本ニュースレターでは、令和4年度の取り組みを皆さまに報告するとともに、今後のスケジュールについてお伝えします。

碑文谷公園生物多様性保全林事業とは

碑文谷公園

多様な自然環境を残し、都市における動植物の生息・生育空間として希少性が高い

しかし・・・

- ・樹木が成長し、**枯れている樹木や弱った樹木**などがみられるようになってきた
- ・防犯の観点で目線の高さの緑が刈り込まれ、**樹林が単調**になった
- ・**外来種が繁茂・生息**するようになった など

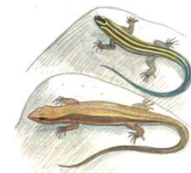
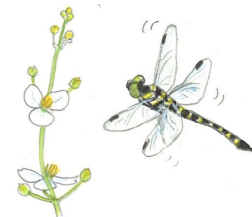
「自然環境の変化」が問題に・・・

地域の皆さまと連携

多様な自然環境を保全・回復し、将来に残していくため、地域の皆さまと意見交換を行いながら、環境改善の方向性を検討し、自然環境の整備を進めていきます。

令和4年度の取り組みの実績

- 6月 ★ 原っぱの生物多様性保全ゾーン（草丈が異なる草地）の試験創出
- 7月 ○ 現地調査会（7月16日）
- 9月 ○ 意見交換会（第1回：9月3日）
■ 鷹番小学校との合同調査（原っぱ）（9月30日）
- 10月 ■ 鷹番小学校への出前授業（10月6日）
○ 意見交換会（第2回：10月15日）
- 11月 ★ 水辺の生物多様性保全ゾーン（浅場）の創出
■ 鷹番小学校との植樹イベント（11月25日）
- 12月 ★ エコスタック（石積）の設置
- 2月 ★ 地域の合意が得られた樹木の伐採
★ エコスタック（丸太積・粗朶積・ヤシマット）の設置
■ 水鳥の飛来状況の調査



※ ★の詳細はp.2～3、■の詳細はp.4をご覧ください。

地域の合意が得られた樹木の伐採・抜根
生物多様性保全ゾーンの創出
エコスタックの設置 について



生物多様性保全ゾーンの創出について

拡張部（北側）の原っぱに草丈が異なる草を試験的に創出しました。
p.4に掲載した「鷹番小学校との合同調査」では、この草を創出したことで昆虫等の数が増えたことが確認されました。

創出後の様子 (A)



創出後の様子 (B)



既存部（南側）の水辺に浅場を創出しました。また、駒場野公園の池の表土を採取し、碑文谷公園に創出した浅場に盛り付けました。

今後、駒場野公園に生育していたような在来の水生植物が発芽し、昆虫等の生息環境となることが期待されます。

創出後の様子 (C)



地域の合意が得られた樹木の伐採・抜根について

枯れている樹木や弱った樹木、外来種の樹木などのうち、伐採の緊急性が高く、地域の合意が得られたものについて、伐採作業を行いました。また、今後、後継樹を植栽できるように一部抜根も行いました。

さらに、生態系被害防止外来種であるトウネズミモチの実生木（タネから芽生えたもの）約500本についても、抜き取り作業を行いました。

伐採・抜根後の様子 (1) (2)



伐採・抜根後の様子 (3) (4)



伐採した樹木の区分と本数

区分	本数
● 枯れている、又は弱っている樹木	8本
● 外来種の樹木（環境省が「生態系被害防止外来種」に指定している樹木）	11本 + 生垣3箇所
● 強風で倒れるリスクがある樹木	2本
● 生育に適さない環境に植えられている、又は害虫が発生している樹木	4本
生態系被害防止外来種「トウネズミモチ」実生木	約500本



エコスタックの設置について

既存部（南側）の樹林地内の3箇所にそれぞれ4種類のエコスタックを設置しました。

今後、は虫類や昆虫等の小動物が利用し、生息数が増えることが期待されます。



創出後の様子 (D)

